

九月よみとりおけいこ③てい学年

名まえ

今年の中秋の名月は十月一日です。いわゆる「お月見」ですね。中秋の名月のころはちょうどおいしいものが畑でとれるじきなので、むかしからいもやまめなどの作物をおそなえしてお月さまとうぎようのかみさまにいのりました。いのった中みはたとえば、「大きな台風がきませんように」「お米がたくさんとれますように」「秋まきの作物が大きくそだちますように」などです。

京とのお寺や神社ではこの日にお祭りをするところもけっこうあります。下がも神社や大かく寺や神泉苑しんせんえんなどです。

大かく寺では平安時代のはじめにさが天のうという人が大沢池に舟をうかべてお月見をしたということで、この日は舟も出ます。のるには千円いりますけどね。あとおまいりは五百円でおまっちゃんをのむにはまた千円いりますが。コロナで中止かもしれないし、たしかめてね。

月見だんごというのもお月見にはつきものですが、地方によっておだんこの形がちがいます。

京との月見だんごはえんすい形であんこのはらまきをしたものが多いのですが、東京のほうではまんまるのだんごであんこがついていないものがふつうです。

ところで「月々に月見る月は多けれど月見る月はこの月の月」というたがあります。月は一年中見られるけれどとくべつききれいなのは今月の月だといういみです。

秋の空気はすみきって、月がくつきり見えるのです。

おでかけしなくても、はれてさえいればどこでも月は見られます。あなたもおうち時間をかつようして家のベランダに月見だんごやススキをかざってみてはいかがでしょう。おんどくサイン↓

① 何の話ですか？

② お月見ではどんなことをいのったのか三つかきましよう。

③ 月々に…の歌には「つき」がいくつ入っていますか？

④ 大かく寺で初めに舟あそびをしたのはだれですか？

⑤ 大かく寺でおまいりしてまっちゃんをのんで舟にのったらいくらかかりますか？

⑥ あつている文に○をつけましよう。
() お月見にはだんごを食べるだけでなくほう作をいのるといいういみもあつた。

() 月見だんごの形はいろいろだ。
() お月様にはスズキをそなえる。
() お月見は京とでしかできない。
⑦ おもったことを四行にまとめましよう。

できばえは？

